

# 【理 科】

## 1 理科の目標

- 自然の事物、現象に進んで関わり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる。
- 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

## 2 学習の進め方

☆授業では…

- 教科書に載っている実験や観察を中心として、授業を進めていきます。身のまわりの様々な現象について、問題意識を持ち、その問題について考察を進めていきます。

1つの単元につき下のような順で授業を進めます

- 1 身のまわりの現象について科学的な視点から考え問題意識を持つ
- 2 問題を解決する方法（実験・観察）について考える
- 3 実験観察に取り組む
- 4 実験・観察の結果をもとに確かめをする
- 5 応用の問題に取り組む

- 実験や観察の結果は、教科書に載っていないものも多数あります。したがって、実験を行った後に結果を記録し、その後の考察まで残しておくことが大切になります。

- 理科では単元が変わると、学習の内容が大幅に変わります。物理、化学の分野では公式を使った計算が多く出てきます。生物、地学の分野では、暗記中心の単元となります。

☆家庭学習では…

### 日常

- 実験や観察を行ったときは、その結果と考察をノートを見て復習しておきましょう。
- 学校で学習した内容に該当するワークを進めながら学習内容が定着するようにしましょう。

### テスト前

- 重要語句や法則などを実験と関連づけて暗記しましょう。
- 計算問題は、公式に当てはめて問題を解き、解答を見なくても自分一人で解けるようになるまで練習しましょう。
- ワークやプリントは、必ず2回以上やりましょう。2回目は答えを隠してノートにやり、答え合わせをして間違えたところはさらにもう一度やりましょう。
- 教科書とノートを照らし合わせ、実験・観察の方法、結果、考察を整理し、ポイントを押さえておきましょう。
- 分からない部分は積極的に友だちや先生に質問をし、理解できるようにしておきましょう。
- テスト終了後は間違えたところを見直し、なぜ間違えたのかを把握できるようにしておきましょう。（テストは保管しておく）

## 3 評価の観点と内容

### ①【自然事象への関心・意欲・態度】

- ・観察・実験などを通して、自然事象の性質を見つけ出したり、規則性を理解しているかどうかを、授業の様子、ノートや課題の提出などで総合的に評価します。

### ②【科学的な思考・表現】

- ・自然に関する事物・現象の中に問題を見出し、その解決方法を考えて観察・実験などを行ったり、規則性を見出したりして問題を解決できるとともに報告書の作成や発表ができるかどうかを、授業の様子、ペーパーテストなどから評価します。

### ③【観察実験の技能】

- ・自然に関する現象についての観察・実験の基本操作を習得しているか、また規則性を見出したり、自らの考え方を導き出したりして創意ある観察・実験ができるかどうかを、授業の様子、パフォーマンステスト（実験器具の操作等）、ペーパーテスト、課題の提出などから評価します。

### ④【科学的事象についての知識・理解】

- ・自然に関する事物・現象についての観察や実験などを行い、基本的な概念や原理や法則を理解し、知識を身につけているかどうか、ペーパーテストを中心に評価します。